

林野庁 プレスリリース

5月1日	海岸防災林の植栽樹種・方法に関する実証試験の実施及び植樹式の開催について
5月9日	第13回「聞き書き甲子園」の開催について
5月14日	「平成26年度 山地災害防止キャンペーン」の実施について
5月16日	「南アルプス」及び「只見」のユネスコエコパークへの登録勧告について
5月30日	「森林整備保全事業計画」の策定について
5月30日	「平成25年度森林・林業白書」の公表について
5月30日	林農林水産大臣の国内出張について
5月30日	江藤農林水産副大臣の国内出張について

「山の日」が制定されました

5月23日の参議院本会議で、平成28年から8月11日を「山の日」として新たに国民の祝日とする法律が可決、成立しました。同法は山の日を「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日と定めています。山や森林の恩恵に感謝し、次世代に引き継ぐために何ができるかを考える機会になることを願います。

ところで、今回祝日となることが決まった8月11日の外にも、各地で8月8日や11月11日などが独自の「山」に関する記念日とされ、様々なイベントや取り組みが行われています。「八」の字が山の形に似ていること、「1」の並ぶ様子が木の並び立つ様子に見えること、などがその理由のようです。

ちなみに、林業関係者の間では「ヤマ」といえば「山岳」の意味ではなく、「森林」や「林」のこと。手入れの行き届いた良い森林のことを「良いヤマ」と表現したり、仕事で森林へ行く場合に「オイ、ヤマ行くぞ」と同僚を誘います。

7月7日は「^{ほし}☆乾しいたけの日」

こちらは国民の休日ではありませんが、7月7日の七夕は「☆乾しいたけの日」です。乾しいたけは、森林の恵みとして、古くから日本の食文化と山村社会の形成に貢献してきました。乾しいたけの生産・流通業界関係者の団体である「日本産・原木乾しいたけをすすめる会」では、乾しいたけの「旬」が6月から7月であることや、七夕の「☆(星)」と乾しいたけの「乾し」をかけて、7月7日を「乾しいたけの日」としています。

今年も東京・数寄屋橋では、7月7日にうまみや栄養が豊富な乾しいたけの消費拡大のために、そうめんなどを扱う乾麺関係団体と協力して、街ゆく方々に乾しいたけをPRするイベントを開催します。乾麺関係の団体でも、そうめんの細く流れるような様子を天の川に見立てて、同じ7月7日を「そうめんの日」としています。どちらも乾かすことでおいしくなった夏の味覚、これからの季節にはぴったりの食材です。たくさん食べて、暑い日々を元気に乗り切りたいものです。



昨年のPRイベントの様子

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。